



第6回(通算第18回)通常総会議案書

日 時 : 2010年5月22日(土)

10:30~14:00

場 所 : 藤沢産業センター

## 総 会 次 第

1 . 開 会

2 . 理事長挨拶

3 . 来賓挨拶

4 . 議長選出

5 . 資格審査

6 . 議事審議

第 1 号議案 事業報告

第 2 号議案 決算報告および監査報告

第 3 号議案 事業計画

第 4 号議案 事業予算

第 5 号議案 就業規則の改訂

第 6 号議案 役員選出

7 . 閉 会

# はじめに

介護保険制度が発足して「介護の社会化」、自己決定による「自立支援」という掛け声から10年がたち、私たちは様々な場面を通しなかなか豊かにならない福祉社会と格闘しております。

昨年度は政権交代という大きな変革があり、福祉政策にも変化を期待しましたが一年を待たずその行き先は霧の中に隠れてしまいました。これまでの小手先ばかりの制度改革により事業者には事務負担ばかりが重くのしかかり、利用者には重度になり本当に手助けが必要な時に思うように使えないなど、理想からだんだん離れていく制度になってきています。二年後の見直しに向け、市民として制度を検証し声を上げて行く必要性を実感しています。

自分たちの地域は自分たちで創りたいと「市民参加型福祉」を実践してその活動も19年目に入りました。たくさんの地域の方々から応援を受け、理想の終の棲家として『ぐるーぷ藤一番館・藤が岡』を建設し運営も軌道に乗りつつあります。日本全国からの見学や視察に加え海外からも研究者が訪れています。住まい方や運営の仕方を参考に幾つかの都市で実践が始まっています。

一方「福祉の駆け込み寺」としての役割も地域に定着し、自分たちの望む形が少しずつ実現しています。制度を利用し自分らしい生活スタイルを守りたいと希望する人も、その制度を支えながら自己実現を図りたいと考える人も、双方が喜びあえる地域社会をめざしさらに前進していきたいと思えます。

## 第1号議案

### 2009年度事業報告

#### 1. 組織運営

設立から18年目、福祉マンション「ぐるーぷ藤一番館・藤が岡」を開設してから3年目の今年度は、地元藤が岡の地になじみ、根づく活動ができました。大勢いる地元のスタッフのさまざまなご縁から、どんぐり園はじめ地元自治会・学童保育・中学校などとの交流が頻繁に行われ、休日にはスタッフの子どもたちが、ボランティアとして来館するなどユニークな活動もありました。

今年度は、ホームヘルプを対人援助の基本と捉え、各部門のスタッフが在宅支援を経験することを方針として掲げました。その結果多くのメンバーが部門を超えて活躍しています。10月から1月まで長寿社会文化協会主催2級ヘルパー研修をぐるーぷ藤校として開催し、受講生14名全員が資格を取得したことにより新たなヘルパーも増えました。

また、懸案であった就業規則の改訂を行いました。数年前、社会保険の整備にあたり必要最小限の規則は作成してありましたが、事業が拡大しメンバーも増加する中で内容の見直しを行いました。まちづくりという目的をめざしてメンバーそれぞれが自己実現を図る「藤」のようなNPOで、組織を守り且つメンバーの身分も守る就業規則を作ることは難しい作業でした。専門家のアドバイスを受けながら議論を重ねて作成しました。

運営については、年4回開催した理事会で予算を始め事業運営に関する重要事項の検討を行い、必要に応じて開催した代表者会議で随時新たな課題についての検討を重ねました。内部理事及び各事業部門の代表で構成された運営会議を月1回開催し、理事会での決議を踏まえて各事業に関する諸事項の討議を行いました。月1回の運営報告会で全会員に対して運営状況の報告を行いました。

部門ごとに会議や担当者ミーティングを随時持ち、それぞれの課題を解決し情報を共有するとともに研修の場となるよう努めました。また部門の枠を超えた委員会活動やプロジェクトは、さまざまな形で会員が運営に参加する機会になりました。

#### 2. 事業活動部門

3年目を迎えた「ぐるーぷ藤一番館・藤が岡」では、地域の拠点としてさまざまな場面で地域に根ざした活動ができました。ご利用者や地域のニーズにきめ細かく対応するために、7つの事業部門を展開し総合相談窓口での活動も拡げてきました。なかでも精神障害を持つ方やその関係者からの相談件数は多く、精神障害者への援助の受け皿の少ないことを実感しました。

レストラン「オハナ」はぐるーぷ藤の応接間としての役割も果たし、赤ちゃん

連れでランチのできるお店として大変人気がありました。お年寄りやペットを連れの方など誰でもが集える場として地域での評判が定着しました。

二番館に向けての開設準備として、名古屋でのNPOの活動を視察することができ、またURひばりが丘団地での先進的な取り組みを見学する機会を得ました。

## 2 - 1 訪問介護事業（ホームヘルプ）

『明るく元気に！』を合言葉に利用者に寄り添うサービスを心がけました。

本来事業では子育て支援や入居者の看取りのケア等、多くは公的なサービスでは行えない内容のケアや公的サービスでは不足するケアの対応でした。

介護保険では基準を満たす事業所として藤沢市で唯一特定事業所加算 を取得し、ご利用者負担が1割増しになったことでケアマネからの依頼数が若干減少しました。しかし本来事業と介護保険を併用している利用者は増加して全体の8割強になりました。介護保険を超えるサービスにも対応できることが、ぐるーぷ藤の特徴になりつつあります。また、包括支援センターからの要支援の方のケア、困難なケースの依頼等は増え、地域に密着したホームヘルプとして定着してきた感があります。

障害者自立支援では、精神障害、知的障害の方の問い合わせが多く、可能な限り対応してきました。障害者自立支援に対応する事業所の少ない中、在宅の障害者サービスを担っていく事業所として信頼を得ることができました。

2009年度はヘルパー習熟度に応じて研修計画を作成し、加算を受けた事業所として昨年にも増す研修を行いスキルアップに努めました。また、3年目を迎えたリーダーヘルパー制については、ヘルパー会議での活躍の場の設定等いくつかの課題を残しましたが、スキルアップのため「医療的ケアの研修」に参加するなど知識や技術を身につけ、今後のヘルパー事業を担える制度になりつつあります

## 2 - 2 通所介護事業（デイハウス藤の花・デイハウス菜の花）

藤の花のカルチャーデイ・認知症対応型デイ・菜の花のサロンデイ、そしてぐるーぷ藤一番館の小規模多機能「しがらきの湯」と連携することにより、その方に合ったきめ細かいサービスを提供できるようになりました。ご家族が「通わせたい」、ご本人が「通いたい」そして私達が歳をとったとき「通ってみたい」をモットーに、ゲスト一人ひとりを大切にしたい居心地のよいデイサービスの運営に努めました。

### デイハウス藤の花

開所8年目を迎えるとともに、ゲストの高齢化が進み介助が必要な方が多くなりましたが、スタッフの定着率が高く、その結果介護力もアップし困難なケースにも対応できました。カルチャーも少人数に分け自立度に合わせた企画を

たて達成感を共有しました。

今年度からサービス提供体制強化加算（職員の定着率）個別機能訓練加算を取得しました。個別機能訓練による自立支援のためのレクリエーション等を取り入れ、プログラムの充実をはかりました。

12月に神奈川県を通所介護の現地指導、1月に「介護サービス情報の公表」の訪問調査がありました。多様なプログラムや書類の整備が評価され、改善・是正の報告を求める事項はありませんでした。

また恒例の行事として家族懇談会、年末の入浴サービスを行いました。

#### デイハウス菜の花

ゲストが創り、参加し、憩いの場となるサロンデイとして4年目を迎え、各曜日それぞれの個性があふれるデイサービスとなりました。ゲストの要望に応えたアクティビティとして、「菜の花」ならではの立地を生かした商店街への買物や海への散歩、一人ひとりに対応した健康体操やマッサージ、楽しみながら美くなる美容講座や発声練習から始める本格的な音楽レッスン、そして看護師による介護・健康相談などを取り入れました。

11月にはゲストの方々にアンケートを実施し、ご家族を含め満足の声を多くいただきました。その結果を踏まえ更なるサービスの向上をめざし、業務改善を行いました。

### 2 - 3 居宅介護支援事業（ケアマネジメント）

ご利用者の誰もが地域で自分らしく暮らすために公正中立なケアプラン作成に努めました。地域の福祉コーディネーターとして第4地域包括支援センターとの連携や、近隣にお住まいの方のSOSに迅速に対応する等できるかぎり地域のニーズに応えることができました。またご利用者の状態に合わせて小規模多機能サービスへつなげたり、小規模多機能サービスから在宅のプランに移行するなどご利用者本位の臨機応変な対応を行ってきました。

毎月行われるケアマネ会議においては、新規の事例や困難事例の検討を行い、個々のアセスメントやプランの内容について助言をする等ケアマネジメントの力量を高めあいました。

来所や電話で様々な相談があり、なかには相談だけでなく問題解決のお手伝いを行い適切なサービスに結びつけることができたケースがありました。複合施設の中の居宅介護支援事業所として地域に定着してきました。

### 2 - 4 小規模多機能型居宅介護（しがらきの湯）

「通い」を中心とし「泊まり」と「訪問」を組み合わせたなじみの関係で、住み慣れた地域での生活の継続を実現しました。登録者もほぼ満員の状態で地域に必要とされる制度だと日々実感しています。本人、家族、関係者と話し合いながら最善と思われるプランを作成し、安心して利用できるようスタッフ

同心がけてきました。

お祭りやふれあい喫茶等地元自治会活動への参加、中学校の職場体験実習への協力、幼児教室どんぐり園との交流やしがらき独自のイベント、地域のボランティア等の支援で日々の活動が大変充実しました。また運営推進会議では、ご家族、自治会長、民生委員、地域包括支援センター、介護保険課の方々と地域高齢者への対応や防災等情報交換を行い、地域密着ならではの有意義な話し合いを持つことができました。

地域密着型サービスに義務づけられている「第三者評価」および今年度初めて実施された「介護サービス情報の公表」の調査では、地域交流の多さ、スタッフの充実、記録の整備等高い評価を受けました。

## 2 - 5 精神障害者グループホーム 藤が岡の家

複合施設の中にあるグループホームとして、世話人だけでなく看護師や他部門のスタッフや入居している高齢者の方、地域の方との交流が自然な形で定着してきました。6名の入居者は地元自治会のお祭りやしがらきの湯のコンサート等のイベントに参加したり、月に1回の外食・食事会を行うなど地域の生活に根を下ろし始めています。また入居者同士のコミュニケーションや住まいのルールを作る機会を提供する目的で、入居者と全世話人とで月に1回のミーティングを行いました。

藤が岡の家開所から2年が経ちましたが今年度も全国各地からのお問い合わせや見学者が多数ありました。他のグループホームと異なった藤が岡の家の運営方法は各所から注目されています。

入居者のなかには、グループホームからアパートへと地域移行を目標にする方もでてきました。そのために就労準備として週4日、3か月間横浜まで障害者職業訓練に通い見事卒業し、自律への第一歩を踏み出すことができたのは、世話人はじめ一番館全員の喜びとなりました。個別支援目標は、一人ひとりに合った社会参加・就労と、自立を探る方向へと少しずつ進んでいます。

## 2 - 6 高齢者住宅（一番館）

開所して3年を迎えた一番館では「終の棲家」として初めて看取りをしました。ご家族、医師、看護師、スタッフの全てが連携をとることで入居者ご本人の望まれた最期を迎えることができました。かかわった全てのスタッフが感謝の気持を持つことができ「終の棲家」として本当の第一歩を踏み出しました。

運営懇談会、ご家族の訪問時、毎月の手紙等を通して日常の様子を報告し、本人やご家族の要望をお聞きするなどコミュニケーションを図るよう努めました。

お住まいの方にその人らしく暮らしていただくために「おもてなしの心」を大切に3つの環境づくりに努めました。

#### 「安心できる環境づくり」

ターミナルケアのあり方を主治医、看護師と十分な話し合いを持ち、ご本人の意思を尊重し支援を行いました。また、内・外部のケアマネジャーのプラン作成によるデイサービスやホームヘルプ等の介護保険サービスの利用を支援しました。

#### 「笑顔のある環境づくり」

お住まいの方が3・4階のそれぞれのリビングに集うきっかけづくりをしました。ティータイムや料理レクリエーション、鍋を囲んだり焼肉をしたり、夏にはスイカを食べながら江ノ島花火大会を見物しました。

#### 「楽しみのある環境づくり」

自由な外出を支援するとともに、季節を感じる行事を取り入れることで、日常生活に張りがでています。スタッフの結婚披露宴の企画では、入居者一人ひとりが役割を持ち、まるでわが子の披露宴のように胸弾ませ出席されました。

### 2 - 7 厨房及びレストラン（オハナ）

厨房では栄養士を配置し、一番館・藤が岡にお住まいの方々やしがらきの湯を利用されている方々の体調に配慮し、やわらか食、ミキサー食等さまざまな形態の食事を提供しました。

レストラン「オハナ」では単なる食事の場としてだけではなく、開かれた施設のシンボルとして地域の方の交流の場や憩いの場、相談窓口そして一番館の応接間としての役割も果たしました。国内や海外からの見学や相談に訪れた方々にもオハナのおもてなしは大変喜ばれました。また、お花見・研修・謝恩会等のお弁当、誕生日ケーキ、ウェディングケーキ等さまざまなニーズに対応し、季節のお惣菜はスタッフやその家族の食卓も支えることができました。

### 2 - 8 総合相談窓口

地域福祉の核となり地域の駆け込み寺としてあらゆる相談に対応できるように設置した総合相談窓口では看護師、社会福祉士、介護福祉士、ケアマネジャーを中心に地域のさまざまな相談に応じました。その結果、包括支援センターと共に対応したケース、緊急のサービス提供や一番館でお預かりするなどの対応を行ったケース、権利擁護など弁護士につないだケース等臨機応変にきめ細かく対応しました。NPO版地域包括支援センターの自負を持ち地域に寄り添った相談窓口としての役割を果たしました。

## 3. 管理部門

ぐるーぷ藤総体の事務局として管理運営に責任を持ち、今までの体制に加え新しいスタッフを迎え相互に協力しながら日々の事務処理を行いました。一番



館完成より2年経過した10月には館内全ての点検を行い必要個所の補修を行いました。また10月から1月まで長寿社会文化協会主催2級ヘルパー研修をぐるーぷ藤校として開催しました。講師はコーチング研修で育成されたスタッフが務め1月には受講生14名全員が資格を取得しました。

事業の拡大によって増加する個人情報の保護に配慮しセキュリティー管理も強化しました。

ぐるーぷ藤専用のサービス管理ソフトの本格稼働を目指しましたが、完成にはいたらず課題を残しました。

### 3-1 会員（メンバー）と福利厚生

今年度も募集をしない中でメンバーの紹介により、福祉のまちづくりという理念に賛同する仲間が21名増え現在会員は161名になりました。一人ひとりの活動時間が増えたことにより、社会保険および雇用保険加入者も大幅に増加しました。メンバーの健康維持と安心して働ける職場を実現するため、合理的かつ効率的に業務を進めることをめざし、決められた時間内に日々の業務を終了するよう努めました。

恒例の交流会は夏には東京はとバスツアー、冬には2班に分けて湯河原一泊旅行を大いに楽しみました。一番館で行った新年会は、厨房手作りのお料理を満喫しゲームなどで会員の親睦を深めました。

賞与は期末を含め年3回支給することができました。また長年の夢であった退職金制度の準備も始めました。

福祉関連有資格者（2010年3月現在・重複あり）

ホームヘルパー	1級：	2名
	2級：	113名
身体障害者ガイドヘルパー		23名
介護福祉士		42名
看護師		5名
ケアマネジャー		8名
精神保健福祉士		2名
社会福祉士		3名
社会福祉主事		1名
福祉住環境コーディネーター2級		2名
認知症ケア専門士		3名
学習療法士1級		1名
栄養士		3名
調理師		7名
鍼灸マッサージ師		1名
理・美容師		2名

### 3 - 2 広報活動

年4回発行している広報誌「花どけい」は毎号特集記事を組み、利用者やご家族の寄稿もいただくなど内容の充実を図りました。毎号1000部を地域に配布し、また一番館の見学者や相談者には資料として活用し広報の役割を果たしています。ホームページは、専任の担当者が適宜更新し内容の充実を図りました。全国各地からのアクセスや問い合わせが増えています。

今年度もぐるーぷ藤の活動が各種メディアに取り上げられました。10月には大勢のスタッフが取材に協力しPHP研究所より網中裕之著『私たち主婦だけで理想の「終の住処」をつくりました』が出版されました。

毎日新聞や朝日新聞にぐるーぷ藤が紹介されたこともあり、見学希望や問い合わせがさらに増え、アメリカを始め海外からの見学者もありました。見学希望や問い合わせは、入居希望の方だけではなく、新しい事業モデルとしてアドバイスを求める方、NPOの成功例を学びたい方、大学や研究所での研究対象にしたい方、行政視察など目的も様々でした。藤の理念や活動などを大学生や市民に直接話してほしいと理事長への講演依頼も多数ありました。見学希望に対してはお住まいの方のプライバシー保護を考慮し、月1回に制限させていただいており、現在2011年夏まで予約が入っています。

### 3 - 3 諸団体での役割

- ・ 市民福祉団体全国協議会 常務理事
- ・ 藤沢市個人情報保護制度運営審議会 委員
- ・ NPO法人ふじさわNPO連絡会 理事
- ・ NPO法人昴の会 理事

## 4 . 評価プロジェクト

第2期3ヶ年計画の2年目となり、昨年とメンバーを一部入れ替え10名の委員が年間7回の会議を通じて、ぐるーぷ藤独自の評価システムをつくる活動を行ってきました。

今年度はヘルパー70歳、スタッフ65歳、事務職65歳というそれぞれの定年、および定年後の評価方法の検討という課題から話し合いを行いました。その結果定年制を明記し、2年間の経過措置の期間を置いて定年後はヘルパー業務の一部を除いて有償ボランティアでの働き方の提案を行う、という点で合意を得ました。

昨年に引き続きヘルパー、スタッフ、事務職、役職員等11種のDBU(Dialog for Brush Up)を見直し各部門の業務に合わせて改良をすすめ、さまざまな職種、業務に対応できるシートができあがりました。今年度も互いに頑張りを認め合い、目標をもって業務に取り組むことを目的に131名がDBUおよび面談を行いました。

DBUを用いた前年度評価を夏と冬の2回の賞与に反映させることは今年度でほぼ定着しましたが、常勤職員の評価方法の検討については課題を残しました。このDBU評価システムは外部から高い関心を集めています。

## 5. 研修プロジェクト

ぐるーぷ藤の理念の共有と介護力の向上をめざし今年度もさまざまな研修を行いました。運営報告会では会員全体に向けスキルアップを目的とした研修を行い、各部門会議においては直接現場にかかわる身近な研修を毎月実施しました。理念の共有と継承のため、入会順に分け年間4回「理事長と語る会」を開催しオハナのお弁当を食べながら意見交換をし理念の共有を図りました。また、藤沢南消防署連携した普通救命救急講習会には50数名が参加し修了証を手にしました。恒例の竹内佐智恵先生による介護講座では「安全で安楽な介護技術」について学び、木村千尋先生による「おもてなし講座」では接遇を学びました。また、精神疾患について理解を深めるために岩崎正人先生をお招きして「心の病」について学習しました。

リーダー養成研修では東海大学の阿部正昭先生によるコーチング研修を6名が受講し、2級ヘルパー研修の講師としてその成果を発揮することができました。トップリーダー研修における今年度の海外研修には、市民福祉団体全国協議会主催のオーストラリア福祉研修に3名参加し、NPOと政府との関係や充実した社会保障の制度等を学びました。

## 6. その他の活動

幼児教室どんぐり園、コンフォール藤沢自治会、地域の諸団体及びボランティアすみれと連携しながら、地域に根ざしたさまざまな活動を行いました。

藤沢市の諸団体の委員、市民福祉団体全国協議会等での活動を通じて、介護保険はじめ福祉に関して市民の立場に立った提言・提案をしてきました。さらに、各種講師等の機会を通してぐるーぷ藤の活動を広く紹介すると共に啓発活動を行ってきました。

## 講師

- ・ 日本社会事業大学専門職大学院ビジネスマネジメント事例研究  
「特定非営利法人の経営実践事例」
- ・ 横浜国立大学 「地域連携と都市再生」
- ・ 藤沢市生涯学習大学かわせみ学園 「あなたもまちの企業家になれる！」
- ・ コミュニティカフェ研究会 「NPO活動と福祉マンション」
- ・ 財団法人市町村アカデミー研修  
「高齢者福祉と介護保険～公平なサービスを目指して～」
- ・ 藤沢公民館ワークライフケアセミナー  
「地域福祉を支える女性たちから学ぶ」
- ・ 藤沢市生涯福祉大学かわせみ学園 「地元新発見！藤沢発にエールを」
- ・ 藤沢市婦人会セミナー 「介護する人される人」
- ・ 明治学院大学 「地域連携講座」
- ・ UR 「40年代団地再生に係る勉強会」
- ・ 社会福祉団体マロニエ会主催 2級ヘルパー養成研修
- ・ 株式会社フィールズ主催 2級ヘルパー養成研修

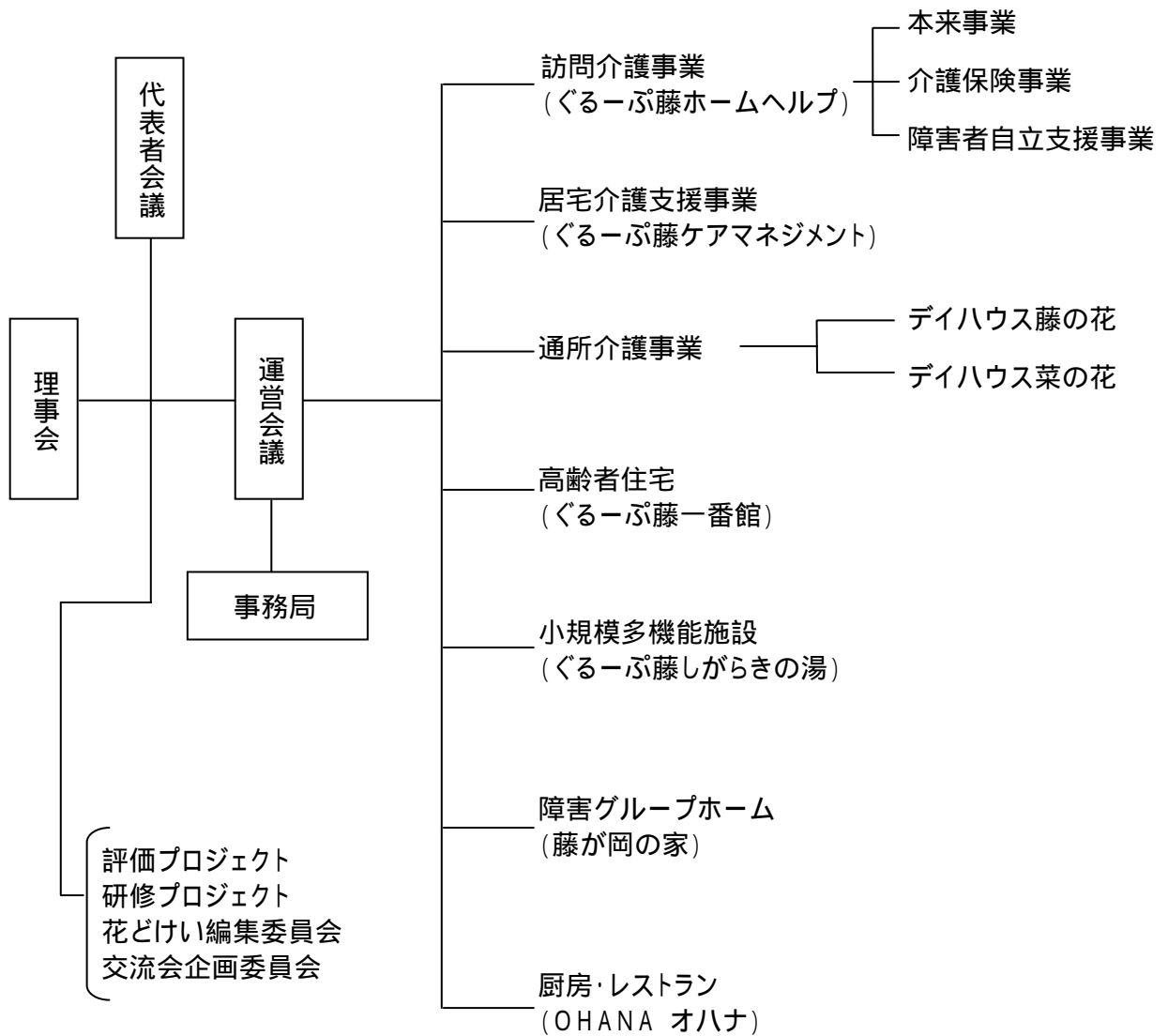
## パネリスト

- ・ 参加型システム研究所主催  
「もう一つの住まい方フォーラム2009～住処なくして福祉なし」
- ・ 第11回ユニットケア研究会(名古屋)  
「これからの施設に求められる役割を探る」
- ・ 鉄道弘済会主催 第46回社会福祉セミナー  
「明日を築くための行財政・専門職・市民の役割」

## 取材、見学、新聞掲載、雑誌掲載

- ・ 取材：7件(NHKクローズアップ現代、UR住宅技術研究所、毎日新聞、  
フジマニ、PHP研究所、介護ビジョン、朝日新聞)
- ・ 見学：41件、165名
- ・ 新聞掲載：毎日新聞、朝日新聞
- ・ 雑誌掲載：介護ビジョン、フジマニ、ミキハウス春号、  
ぱど(藤沢南エリア版)

## 2009年度ぐるーぷ藤組織図



メンバー構成

20代	3名	2%
30代	14名	10%
40代	37名	26%
50代	37名	26%
60代	41名	29%
70代	8名	6%
80代	1名	1%
計	141名(実働人数)	

2009年度 全体研修・部門別研修

		日 時	名 称
全体 研 修		通年	新入会研修
		5月9日	「感染症及び食中毒の予防・まん延の防止」「新型インフルエンザ対策」
		7月11日	接遇研修「おもてなしの心を効果的に伝えるために」
		8月11日	「せっけん仲間になるう」
		8月22日	第17回竹内先生介護講座「安全で安楽な介護技術について」
		9月12日	身体拘束排除のための取り組み
		9月19日	救命救急研修
		10月14日・11月18日 12月17日・2月17日	理事長と語る会
		10月24日	公開医療講座「心の病について」
		11月14日	法令遵守とプライバシー保護の取り組み
		12月12日	倫理規定について
		2月22・23・25日・3月2日	介護福祉士国家試験実技対策講座
リ ー ダ ー 研 修		5月20日	評価プロジェクト主催「評価とは」
		4月24日～11月16日(7回)	介護リーダーのコーチング研修
		8月31日	ユニットケア全国大会「暮らしを豊かに」
		9月1日	愛知県ゴジカラ村NPO法人さくら施設見学・研修
		10月18日～25日	オーストラリア福祉研修
		10月28日1月19日・2月9日	雇用管理責任者研修
		1月27日	「ケアプランチェックとケアマネジメントの課題」
		2月19日・20日	市民福祉団体全国協議会トップマネジメントセミナー
部 門 別 研 修	ホ ー ム ヘ ル プ	5月9日～3月13日(全11回)	ヘルパー会議研修
		6月30日	難病患者等ホームヘルパー養成研修
		6月27日・7月11日・8月18日	県社協主催「介護技術スキルアップ研修」
		10月8日	長寿社会開発センター主催「訪問介護計画作成セミナー」
		1月20日	精神保健福祉居宅介護サービス事業研修会
		12月7日	西方医療福祉研究会主催「援助記録の書き方・実践への活かし方」
		1月17日	キャンパス主催 湘南在宅セミナー「医療行為って何？」
		3月10日	保健所主催 精神障害者居宅介護支援研修会
	デ ィ ハ ッ ス 藤 の 花 葉 の 花	4月25日	倫理規定について「倫理とは」
		5月23日	ぐるーぶ藤の理念についての共有
		6月27日	事故発生・非常・緊急時の対応及び連絡体制
		7月7日	神奈川県認知症介護基本講座
		7月25日	入浴介助・事故事例・ヒヤリハット事例報告等
		8月22日	ケアマニュアルの検討と見直しについて
		10月8日	高齢者の権利擁護に関する研修「身体拘束・虐待に関して」
		10月24日	認知症及び認知症のケアについて「認知症とは」
		11月2日	ノロウイルス等感染症研修
		11月4日	介護職員の認知症介護基礎講座
		11月24日	認知症キャラバンメイト養成研修会
		11月28日	プライバシー保護の取り組みと身体拘束とは
		12月26日	ノロウイルス等感染症について
		1月23日	口腔ケア・事故事例とヒヤリハット事例について
		2月27日	事業所運営について「事業所の業務改善、事業所運営の向上について」
		3月27日	1年間のケア内容についての振り返り

部門別研修	ケアマネジメント	4月2日～3月4日(全11回)	ケアマネ会議研修 事例検討・福祉用具の実演等
		4月13日・6月18日	藤沢市介護保険課主催「新認定調査方法学習会」
		4月24日	藤沢市居宅介護支援事業所連絡会主催「ターミナルケア・看取り」
		5月13日	湘南なぎさ診療所主催「漢方薬について」
		5月30日	市民公開講座「リウマチの治療の最前線」
		6月12日	藤沢市在宅医療研究会主催「地域で支える胃ろう管理」
		7月28日	藤沢市保健医療センター主催「情報収集とマネジメントの実際」
		7月29日・9月3日	神奈川県介護支援専門員協会主催研修「ターミナルケア」
		9月25日・28日	藤沢市介護保険課主催「認定調査員研修」
		10/7・12/20・1/22・3/15	施設見学(老健ガーデンア御所見・愛の家グループホーム、横浜市老健きらら、茶話本園デイサービス、聖テレジア病院「回復期リハビリテーション病棟」ほか
		10月16日・3月12日	第6地域包括支援センター主催「地域ケアマネ研修会・情報交換会」
		11月16日	クローバーホスピタル主催「認知症勉強会」
		12月2日・3月24日	第4地域包括支援センター主催「地域ケアマネ研修会・情報交換会」
		1月28日	藤沢市介護保険課主催「H21年度介護予防支援従事者研修」
		2月19日	藤沢市居宅介護支援事業所連絡会主催「藤沢病院見学」
	2月19日	神奈川県医社会事業協会主催「コミュニケーションを円滑にするアクティブリスニング」	
	看護師	4月8日～7月29日(32日)	訪問看護研修ステップ(基礎編)
		5月20日	湘南なぎさ診療所主催「爪白癬治療について」
		6月12日	藤沢市在宅医療研究会主催「地域で支える胃ろう管理」
		6月16日	新型インフルエンザに備えて
		8月5日	第3回藤沢褥瘡研究会
		2月28日	日本褥瘡学会神奈川在宅セミナー
	しがらみの湯・番館	4月25日～3月27日(12回)	スタッフ会議研修(内容はデイハウス藤の花・菜の花と同様)
		7月7日	神奈川県認知症介護基本講座
		7月17日	認知症キャラバンメイト養成研修会
		10月8日	高齢者の権利擁護に関する研修「身体拘束・虐待に関して」
		10月13日	小規模多機能型居宅介護のリスクマネジメント
		11月10日	地域型福祉サービス調査
		11月20日	介護技術研修「つらい介護からやさしい介護へ」
		1月22日	自治体の戦略
	1月26日	小規模多機能型居宅介護のリスクマネジメント(訪問編)	
藤が岡の家	9月24日	自立支援協議会主催・グループホーム等職員人権擁護研修会	
	11月18日	施設見学 グリーンウエーブ湘南	
	12月9日	KCN主催 サービス管理責任者フォローアップ研修	
	2月15日	自立支援協議会主催・グループホーム ケアホーム世話人等研修会	
厨房	11月9日	食べやすい野菜の切り方について	
	12月16日	ソフト食について	
	1月15日	おいしいミキサー食について	
	2月24日	食品衛生責任者講習会	
事務	5月28日・29日	甲種防火管理者講習	

# 年間活動一覧

2009年4月～2010年3月

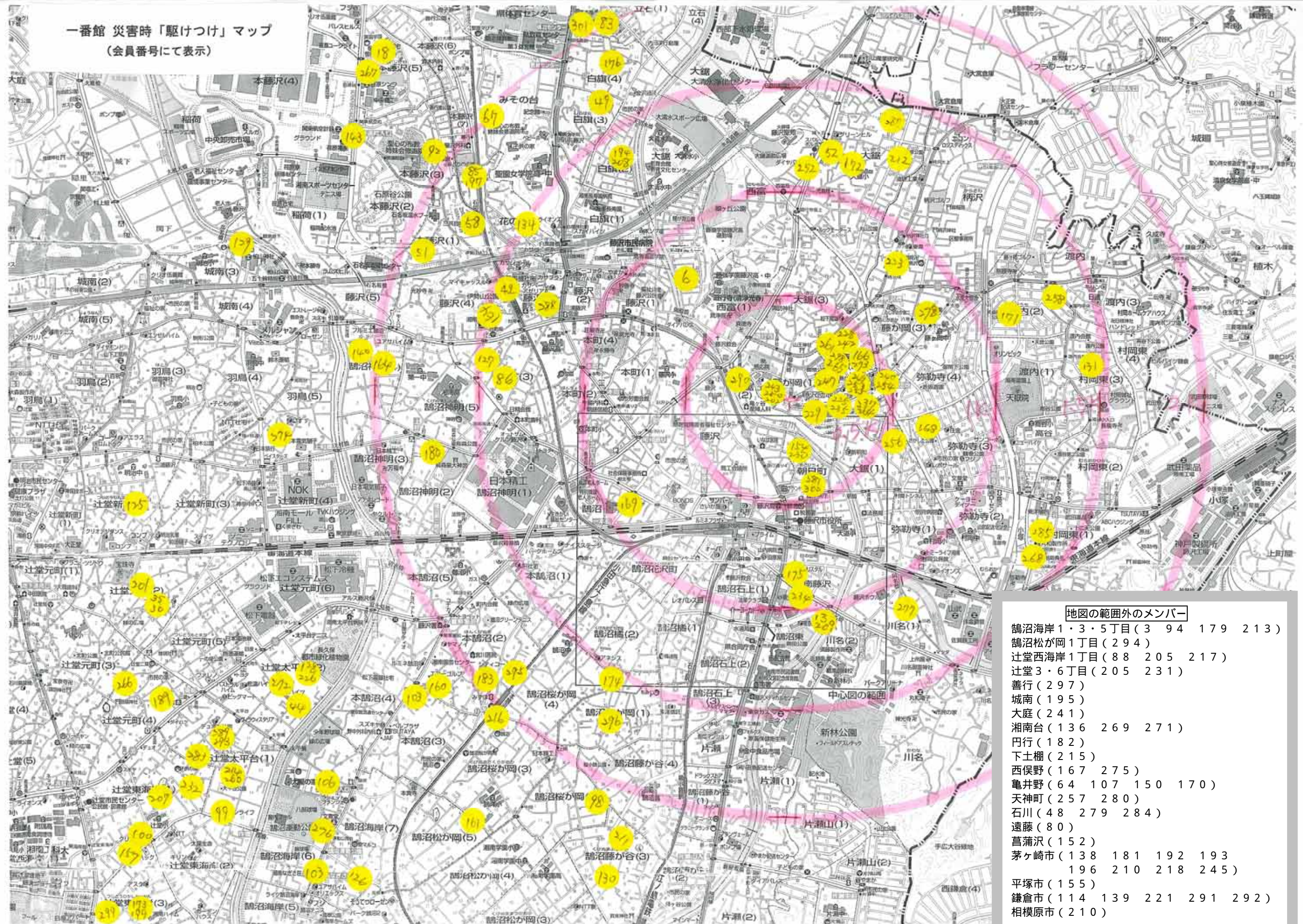
月	日	内部活動	日	外部研修・学習	日	外部活動
4月	1	藤が岡の家スタッフ会議	8	～7/29(32回)訪問看護研修ステップ(基礎編)	17	市民福祉団体全国協議会常務理事会
	2	ケアマネ会議、臨時運営会議	13	藤沢市介護保険課主催「新認定調査方法学習	17	藤沢市地域生活支援連絡会
	3	代表者会議(21)	24	藤沢市居宅介護支援事業所連絡会主催「ターミナルケア・看取り」	24	藤沢市介護保険事業所連絡会総会
	8	第12回運営会議				
	11	運営報告会、ヘルパー会議、事務局会議				
	13	しがらき・一番館ミーティング				
	15	税理士打合せ(23)				
	17	デイリーダー会				
	18	藤が岡の家月例食事会				
	21	花どけい54号編集委員会(28)				
	25	しがらき・一番館・デイスタッフ会議				
	27	ケアミーティング、ケアマネ会議				
	29	藤が岡の家スタッフ会議				
	30	期末監査				
5月	1	代表者会議(15)	13	湘南なぎさ診療所主催「漢方薬について」	13	介護保険を維持・発展させる1000万人の輪
	1	しがらき・一番館ミーティング	20	湘南なぎさ診療所主催「爪疥癬治療について」	25	NPO法人ふじさわNPO連絡会総会
	6	第1回運営会議	21	精神保健福祉公開講座「統合失調症の正しい知識」	26	藤沢市介護保険事業所連絡会管理者部会
	7	厨房会議	28	防火管理者研修(29)	30	マロニエ2級ヘルパー養成研修 講師
	9	運営報告会、ヘルパー会議	30	市民公開講座「リウマチ治療の最前線」	30	NPO法人昴の会総会
	11	しがらきの湯運営推進会議				
	12	花どけい54号編集委員会(27)				
	12	研修プロジェクト				
	16	藤が岡の家月例食事会				
	22	コーチング研修				
	23	第5回(通算第17回)通常総会				
	26	税理士打合せ・デイリーダー会				
	29	ケアマネ会議、藤が岡の家スタッフ会議、デイミーティング				
6月	1	しがらき・一番館ミーティング	12	藤沢市在宅医療研究会主催	15	横浜国立大学「地域連携と地域再生」講師
	3	花どけい54号編集委員会		「在宅医療に用いられる栄養剤・職種を超えて地域で支える胃ろう管理」	27	第47回コンフォール藤沢自治会ふるさと祭り実行委員会
	3	代表者会議(19)、評価プロジェクト	16	藤沢市主催「新型インフルエンザに備えて」		
	8	ケアミーティング	18	藤沢市介護保険課主催「新認定調査方法学習」		
	10	第2回運営会議	19	ケアマネジメントをみんなで考える会		
	13	運営報告会、ヘルパー会議、事務局会議	27	神奈川県社会福祉協議会主催「介護技術スキルアップ研修」		
	16	シャンソンコンサート、デイリーダー会	30	H21年度難病患者等ホームヘルパー養成研修		
	17	しがらき運営推進会議、厨房ミーティング				
	18	デイミーティング				
	20	藤が岡の家月例食事会				
	22	第1回理事会、一番館消防訓練、花どけい54号発行				
	23	税理士打合せ				
	26	コーチング研修				
	27	しがらき・一番館・デイスタッフ会議				
	29	ケアミーティング、ケアマネ会議				
7月	1	交流会企画委員会	11	神奈川県社会福祉協議会主催「介護技術スキルアップ研修」	21	藤沢市障害者地域自立支援協議会・居宅サブ協議会
	1	藤が岡の家スタッフ会議、しがらき・一番館ミーティング	14	藤沢市介護保険事業所連絡会主催「障害者自立支援法の基礎知識」	23	藤沢市精神障害者地域生活支援連絡会
	3	代表者会議(17)	16	保健所主催「依存症の理解と対応」	25	藤沢市生涯学習大学かわせみ学園 講師
	8	第3回運営会議	17	神奈川県主催「キャラバンメイト養成研修」	30	鉄道弘済会主催「第46回社会福祉セミナー」講師
	10	厨房会議	28	藤沢市保健医療センター主催「情報収集とマネジメントの実践」	31	市民福祉団体全国協議会常務理事会
	11	運営報告会・ヘルパー会議	29	神奈川県介護支援専門員協会主催「ターミナルケア研修」		
	15	花どけい55号編集委員会(29)、評価プロジェクト	31	藤沢市地域密着型事業者集団指導		
	21	研修プロジェクト、デイリーダー会				
	23	税理士打合せ、デイミーティング				
	24	コーチング研修				
	25	しがらき・一番館・デイスタッフ会議、藤が岡の家月例食事会				
	29	藤が岡の家スタッフ会議、ケアマネ会議				
8月	2	代表者会議(17)	5	藤沢褥そう研究会主催「目指そう!地域ぐるみの褥そう対策」	2	コンフォール藤沢自治会ふるさと祭り実行委員会
	3	ケアミーティング、しがらき・一番館ミーティング	18	神奈川県社会福祉協議会主催「介護技術スキルアップ研修」	20	藤沢市精神障害者地域生活支援連絡会
	5	第4回運営会議	31	第11回ユニットケア研究会全国大会「暮らしを豊かに」	21	神奈川県介護職員処遇改善事業説明会
	8	運営報告会、ヘルパー会議			24	コミュニティカフェ研究会 講師
	12	花どけい55号編集委員会(19)			28	外部評価制度等に係る事業所説明会
	18	デイリーダー会、事務局会議			28	藤沢市精神障害者地域生活支援連絡会
	19	評価プロジェクト				H21年度精神保健ボランティア養成講座実行委員会
	22	しがらき・一番館・デイスタッフ会議、藤が岡の家月例食事会			29	第47回コンフォール藤沢自治会ふるさと祭り
	22	第17回竹内先生介護講座			31	第11回ユニットケア研究会全国大会 講師
	26	税理士打合せ				
	27	藤が岡の家スタッフ会議				
	28	ケアマネ会議				
	29	デイミーティング				
9月	1	藤の花防災訓練	1	愛知県ゴジカラ村NPO法人さくら施設見学・研修	2	NPO法人ふじさわNPO連絡会理事会
	2	菜の花防災訓練、しがらき・一番館ミーティング	3	神奈川県介護支援専門員協会主催「ターミナルケア研修」	11	市民福祉団体全国協議会常務理事会
	3	藤が岡の家スタッフ会議、しがらきの湯運営推進会議	15	身近な病気「精神障害」を理解しよう	11	藤沢市障害者自立支援協議会サブ協議会
	4	代表者会議(18)	17	「リハビリの重要性」	12	藤沢市障害者地域自立支援協議会・くらしサブ協議会
	9	第5回運営会議	24	藤沢市自立支援協議会主催「グループホーム等職員人権擁護研修会」	24	藤沢市精神障害者地域生活支援連絡会
	12	運営報告会・ヘルパー会議	25	藤沢市介護保険課主催「認定調査員研修」		
	15	デイリーダー会	28	藤沢市介護保険課主催「認定調査員研修」		
	16	しがらき運営推進会議				
	18	厨房会議				
	19	救命救急講習				
	23	税理士打合せ				
	24	デイミーティング				
	25	コーチング研修				
	28	税理士打合せ、第2回理事会、花どけい55号発行				
	29	しがらき・一番館ミーティング				
	30	しがらき・一番館・デイスタッフ会議				



月	日	内部活動	日	外部研修・学習	日	外部活動
10月	1	ケアマネ会議 2 代表者会議(16) 5 ケアミーティング 7 第6回運営会議 8 2級ヘルパー養成研修開講式 10 運営報告会、ヘルパー会議、事務局会議 14 理事長と語る会、花どけい56号編集委員会 20 システム開発会議 21 藤が岡の家スタッフ会議 24 しがらき・一番館・デスタッフ会議 26 税理士打合せ 27 デイリーダー会 28 ケアマネ会議、評価プロジェクト 29 インフルエンザ予防接種	7	老健ガーデンア御所見・愛の家グループホーム藤沢遠藤見学 8 長寿社会開発センター主催「訪問介護計画作成セミナー」 12 横浜市/老健きらら 見学 16 藤沢市第6地域包括支援センター主催「地域ケアマネ研修会・情報交換会」 18 ~25オーストラリア福祉研修 20 茶話本園デイサービス見学 28 雇用管理責任者研修	1	市民福祉団体全国協議会組織部会 17 藤沢市精神障害者地域生活支援連絡会
11月	2	ディミーティング 4 ケアミーティング、しがらき・一番館ミーティング、花どけい編集委員会 6 代表者会議(19) 厨房ミーティング 7 交流会「はとバスツアー」 9 厨房会議 11 第7回運営会議 12 システム開発会議 14 運営報告会、ヘルパー会議 16 コーティング研修 18 理事長と語る会、花どけい56号編集委員会 20 門倉組2年目点検 21 藤が岡の家月例食事会 25 デイリーダー会 28 しがらき・一番館・デスタッフ会議 30 ディミーティング	7	~12/19 藤沢市精神保健ボランティア講座 16 クローバーホスピタル主催「認知症勉強会」 18 グリーンウェブ湘南見学 20 藤沢市主催「つらい介護からやさしい介護へ」	11	(財)市町村アカデミー 講師 12 藤沢市障害者自立支援くらしサブ協議会 13 (株)フィールズ ヘルパー2級養成研修 講師 16 神奈川県協働推進会議 19 (株)フィールズ ヘルパー2級養成研修 講師 20 市民福祉団体全国協議会常務理事会 20 (株)フィールズ ヘルパー2級養成研修 講師 24 藤沢公民館女性セミナー 講師 25 藤沢市生涯学習かわせみ学園 講師
12月	2	代表者会議(4・18) 2 藤が岡の家スタッフ会議、評価プロジェクト 3 ケアマネ会議、しがらき・一番館ミーティング 9 第8回運営会議 12 運営報告会、ヘルパー会議、事務職会議 14 第3回理事会 15 花どけい56号発行 16 しがらき運営推進会議、評価プロジェクト 17 理事長と語る会 21 藤の花・菜の花家族会 22 税理士打合せ、ディミーティング 24 ケアマネ会議、藤が岡の家スタッフ会議 26 しがらき・一番館・デスタッフ会議 30 藤の花入浴デイ	2	ノロウイルス等感染症研修会 2 消費者被害について 2 藤沢市第4地域包括支援センター主催「地域ケアマネ研修会・情報交換会」 4 神奈川県認知症介護基礎研修 7 西方医療福祉研究会主催「援助計画の書き方・実践への活かし方」 9 K C N主催サービス管理責任者研修「障害者ケアマネジメント研修」 24 認知症キャラバンメイト養成研修	1	市長マニフェスト大賞受賞記念首長サミット 10 藤沢市個人情報保護制度運営審議会 13 もう一つの住まいづくり研究会 パネリスト 16 神奈川県小規模多機能連絡会幹事会 18 藤沢市婦人会セミナー講師
1月	3	代表者会議(14) 4 ケアミーティング 6 第9回運営会議 7 厨房ミーティング 9 運営報告会、ヘルパー会議、新年会 12 12~25インターンシップ生受け入れ、デイリーダー会 13 花どけい57号編集委員会 15 厨房会議 16 藤が岡の家月例食事会 20 評価プロジェクト拡大会議 21 しがらき・一番館ミーティング 23 しがらき・一番館・デスタッフ会議 26 税理士打合せ 29 消防署設備点検、2級ヘルパー養成研修修了式	17	キャンパス主催 第11回湘南在宅ケアセミナー 「医療行為って何?ヘルパーにもできる!やりたい!やらせたい!」 19 雇用管理責任者研修 20 精神保健福祉居宅介護サービス事業研修会 21 精神保健福祉講座「神経症とのつき合い方」 22 聖テレジア病院回復期リハビリテーション病棟見学・説明会 26 小規模多機能リスクマネジメント~訪問編 27 N P O 渋谷主催「ケアプランチェックとケアマネジメントの課題」 28 藤沢市介護保険課主催「H21年度介護予防支援従事者研修」	10	コンフォール藤沢自治会新年会 11 「新しい公共をつくる市民キャビネット」設立総会準備会 14 藤沢市個人情報保護制度運営審議会 14 藤沢市介護保険事業所連絡会合同新年会 15 市民福祉団体全国協議会常務理事会 18 U R ひばりが丘見学 21 神奈川県介護職員処遇改善対策説明会 22 全国小規模多機能型居宅介護連絡会「自治体の戦略」 22 藤沢市精神障害者地域生活支援連絡会 27 明治学院大学「地域連携講座」講師 29 「新しい公共をつくる市民キャビネット」設立総会
2月	3	藤が岡の家スタッフ会議 4 ケアマネ会議 5 代表者会議(8・15) 8 ケアミーティング 9 曜日リーダー会、システム開発会議 10 第10回運営会議、花どけい57号編集委員会(17) 13 運営報告会、ヘルパー会議、しがらき・一番館・デスタッフ会議 16 18・26 情報の公表調査 16 デイリーダー会 18 ディミーティング 20 ~21・27~28 一泊交流会(湯河原) 20 藤が岡の家月例食事会 22 税理士打合せ 23 しがらき・一番館ミーティング 26 厨房ミーティング	3	N P O 会計研修 9 雇用管理責任者研修 15 藤沢市障害者自立支援協議会主催 「グループホーム・ケアホーム世話人等研修」 19 藤沢市居宅介護支援事業所連絡会主催「藤沢病院見学」 19 神奈川県社会事業協会主催 「コミュニケーションを円滑にするアクティブリスニングと対話力」 19 市民福祉団体全国協議会トップマネジメント研修 20 市民福祉団体全国協議会トップマネジメント研修 20 「身近なひとが“うつ”になったとき」 24 食品衛生責任者講習会 28 日本褥そう学会神奈川在宅セミナー	18	藤沢市個人情報保護制度運営審議会 24 藤沢市障害者自立支援協議会・居宅サブ協議会 26 藤沢市精神障害者地域生活支援連絡会
3月	4	ケアマネ会議 5 代表者会議(12・19・26) 13 運営報告会、ヘルパー会議、しがらき・一番館・デスタッフ会議 14 藤が岡の家月例食事会 14 デイ藤の花防災訓練 15 ~26 評価面談 16 税理士打合せ(23) 16 ディミーティング 17 しがらき運営推進会議 25 一番館避難訓練、しがらき・一番館ミーティング 26 厨房ミーティング 27 しがらき・一番館・デスタッフ会議 29 第4回理事会、ケアミーティング、花どけい57号発行	10	保健所主催「精神障害者居宅介護支援研修会」 12 藤沢市第6地域包括支援センター主催「地域ケアマネ研修会・情報交換会」 15 村岡ケアステーション試食会・機能訓練・口腔ケア見学会 24 藤沢市第4地域包括支援センター主催「地域ケアマネ研修会・情報交換会」	3	ふじさわN P O連絡会理事会 11 藤沢市個人情報保護制度運営審議会



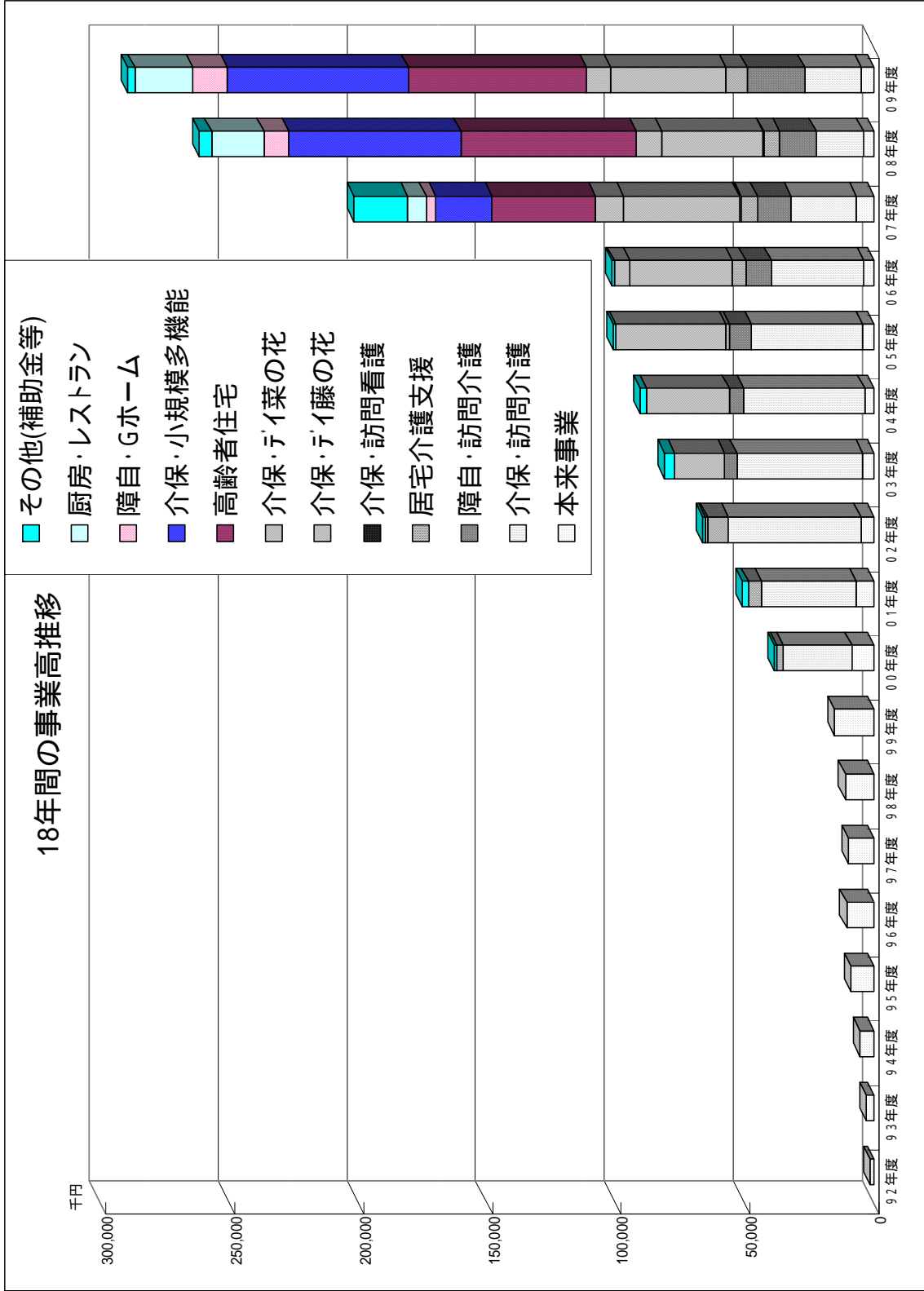
一番館 災害時「駆けつけ」マップ  
(会員番号にて表示)



地図の範囲外のメンバー

鶴沼海岸 1・3・5丁目 (3 94 179 213)
鶴沼松が岡 1丁目 (294)
辻堂西海岸 1丁目 (88 205 217)
辻堂 3・6丁目 (205 231)
善行 (297)
城南 (195)
大庭 (241)
湘南台 (136 269 271)
円行 (182)
下土棚 (215)
西俣野 (167 275)
亀井野 (64 107 150 170)
天神町 (257 280)
石川 (48 279 284)
遠藤 (80)
菖蒲沢 (152)
茅ヶ崎市 (138 181 192 193 196 210 218 245)
平塚市 (155)
鎌倉市 (114 139 221 291 292)
相模原市 (210)



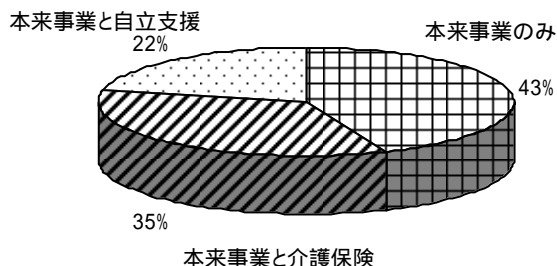


# ご利用者 分布

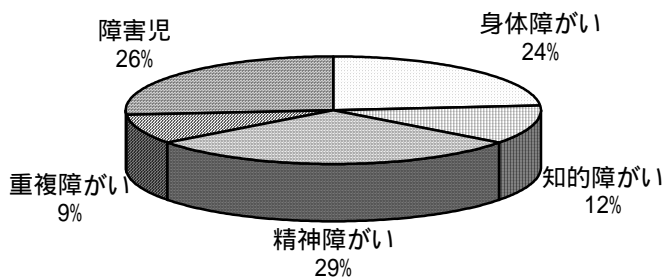
(2010年1月)

年齢	%
20歳以下	2%
30歳代	7%
40歳代	7%
50歳代	9%
60歳代	13%
70歳代	26%
80歳代	28%
90歳代	9%

## 訪問介護(本来事業)

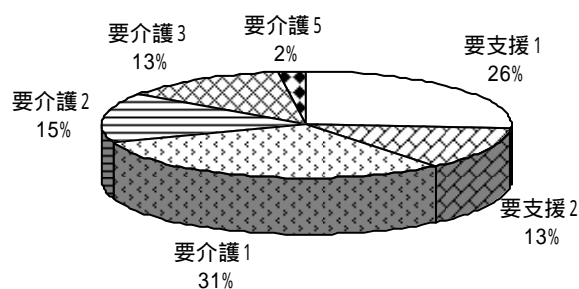


## 訪問介護(障害者自立支援)



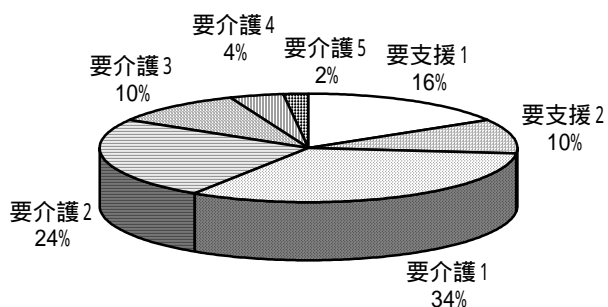
年齢	%
児童	26%
20歳代	9%
40歳代	15%
50歳代	21%
60歳代	15%

## 訪問介護(介護保険)



年齢	%
40歳代	2%
50歳代	2%
60歳代	9%
70歳代	20%
80歳代	50%
90歳代	15%
100歳代	2%

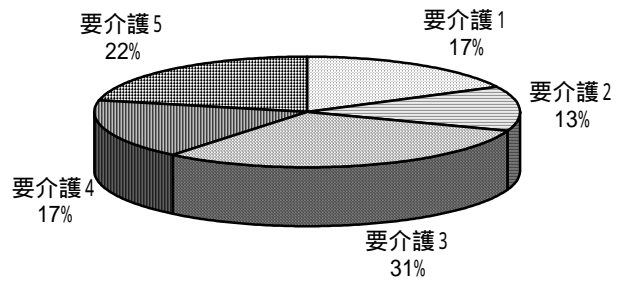
## 居宅介護支援



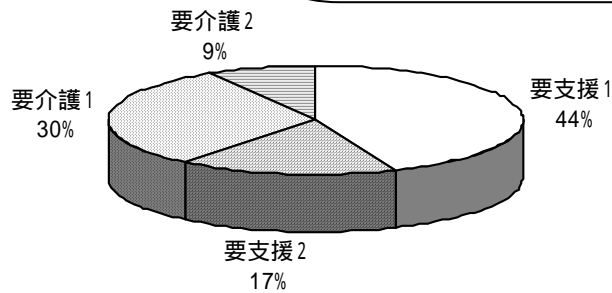
年齢	%
40歳代	2%
50歳代	2%
60歳代	6%
70歳代	15%
80歳代	53%
90歳代	21%
100歳代	2%

小規模多機能(しがらきの湯)

年齢	%
60 歳代	0 %
70 歳代	22 %
80 歳代	48 %
90 歳代	30 %



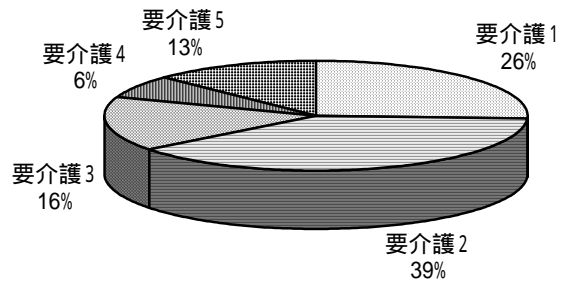
予防通所介護(デイハウス菜の花)



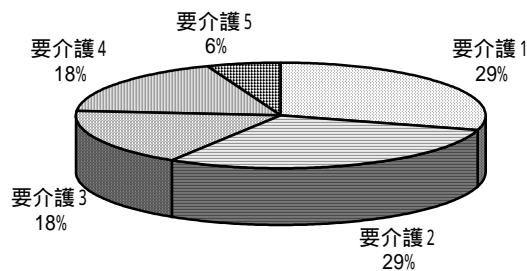
年齢	%
60 歳代	4 %
70 歳代	13 %
80 歳代	57 %
90 歳代	26 %

通所介護(デイハウス藤の花・カルチャー)

年齢	%
60 歳代	6 %
70 歳代	23 %
80 歳代	58 %
90 歳代	13 %



通所介護(デイハウス藤の花・認知)



年齢	%
60 歳代	0 %
70 歳代	24 %
80 歳代	59 %
90 歳代	18 %

## 第2号議案 2009年度 決算報告及び監査報告

2009年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

2009年4月1日から2010年3月31日まで

(単位:円)

科 目 ・ 摘 要	金 額	
<b>収入の部</b>		
1 入会金収入		
正会員入会金	21,000	
賛助会員入会金	25,000	
さわ入会金	19,000	65,000
2 会費収入		
賛助会費	25,000	
さわ会費	88,000	
2010年度賛助会員年会費仮受分	5,000	118,000
3 事業収入		
事業収入	254,046,767	
利用料重複分	7,585	254,054,352
4 補助金等収入		
助成金収入		540,000
5 預り金収入(前受金)		
高齢者住宅・敷金(1名)	500,000	
高齢者住宅・入居金(1名)他	7,100,000	7,600,000
6 寄付金収入		
会員寄付金		60,000
7 雑収入		
受取利息	27,379	
雑収入	2,219,288	2,246,667
当期収入合計		264,684,019
<b>支出の部</b>		
1 事業費		
給料手当	126,060,755	
交通費	6,105,386	
会議費	5,390	
通信費	490,969	
什器備品費及び消耗品費	3,591,652	
印刷費	110,071	
賃借料	6,614,142	
食材費	13,171,190	
光熱水道費	1,323,045	
租税公課	802,940	
雑費	1,924,070	
保険料	140,522	
研修費	96,880	
修繕費	423,506	
街づくり対策費	237,844	161,098,362
2 管理費		
給料手当	27,474,300	
賞与	11,931,550	
福利厚生費	1,461,147	
会議費	819,584	
交通費	1,237,983	
通信費	1,318,647	
什器備品費及び消耗品費	1,763,959	
修繕費	120,506	
印刷費	1,287,083	
光熱水道費	6,419,966	
賃借料	2,652,675	
保険料	6,300,720	
諸謝金	66,475	
研修費	1,380,735	
租税公課	2,452,785	
助成金支出	205,000	
法定福利費	12,222,295	
二番館準備費	177,419	
雑費	5,048,439	84,341,268
3 固定資産取得支出		
什器備品購入支出		2,690,501
4 預り金支出(前受金)		
高齢者住宅・敷金返金(1名)	500,000	
高齢者住宅・未経過入居金返金(1名)	5,016,678	5,516,678
5 借入金支出		
長期借入金返済(銀行)		11,004,000
6 雑支出		
支払利息		11,306,631
当期支出合計		275,957,440
当期収支差額		-11,273,421
前期繰越収支差額		160,336,613
次期繰越収支差額		149,063,192
<b>(正味財産増減の部)</b>		
当期正味財産増減額		19,487,894
前期繰越金		20,102,794
期末正味財産合計		39,590,688

2009年度 特定非営利活動に係る事業会計正味財産増減計算書

2010年3月31日現在

(単位：円)

科 目 ・ 摘 要	金 額	
増加の部		
1 資産増加額		
固定資産増加額(什器備品)	2,690,501	2,690,501
2 負債減少額		
長期借入金減少額(銀行)	11,004,000	
高齢者住宅入居金減少額(前受金)	30,366,558	
会費前受分	5,000	
増加額合計		41,375,558
増加額合計		44,066,059
減少の部		
1 資産減少額		
当期収支差額(減少)	11,273,421	
固定資産減価償却額	13,209,572	
貯蔵品減少額(食材、消耗品他)	87,587	
減少額合計		24,570,580
2 負債増加額		
利用料重複分	7,585	
減少額合計		7,585
減少額合計		24,578,165
正味財産		
当期正味財産増減額		19,487,894
前期繰越正味財産額		20,102,794
当期正味財産合計		39,590,688

2009年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

2010年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		科 目	金 額	
資産の部			負債の部		
1 流動資産			1 流動負債		
現金	726,784		未払金	17,132,239	
普通預金	72,548,581		前受金	102,230,928	
未収金	34,072,339		預り金	321,284	
貯蔵品	643,162		仮受金	12,585	
仮払金	1,828,661		流動負債合計		119,697,036
前払金	197,380				
流動資産合計		110,016,907	2 固定負債		
			長期借入金	462,907,000	
2 固定資産			固定負債合計		462,907,000
土地	166,519,448		負債合計		582,604,036
建物	329,865,781				
電話加入権	180,600		正味財産の部		
車輛運搬具	671,442		前期繰越正味財産	20,102,794	
什器備品	14,833,546		当期増減額	19,487,894	
敷金	30,000		正味財産合計		39,590,688
保証金	77,000				
固定資産合計		512,177,817	負債・正味財産合計		622,194,724
資産合計		622,194,724			



## 2009年度 財産目録

2010年3月31日現在

(単位:円)

科 目 ・ 摘 要	金 額		
<b>資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現 金 現金手許有高	726,784		
普 通 預 金 横浜銀行 藤沢中央支店(普)	72,548,581		
未 収 金 利用料等	34,072,339		
貯 蔵 品 ユニフォーム、書籍等	643,162		
仮 払 金 ソフト開発金他	1,828,661		
前 払 金 保険料等前払費用	197,380		
流動資産合計		110,016,907	
<b>2 固 定 資 産</b>			
土 地 一番館・藤が岡	166,519,448		
建 物 一番館・藤が岡	329,865,781		
電 話 加 入 権	180,600		
車 輛 運 搬 具 車輛2台	671,442		
什 器 備 品 一番館及びデイ・建物付属設備等	14,833,546		
敷 金 藤が岡駐車場3台	30,000		
保 証 金 ティ藤の花、菜の花 駐車場3台	47,000		
A E D 設置	20,000		
ガス契約 保証金	10,000		
固定資産合計		512,177,817	
資産合計			622,194,724
<b>負債の部</b>			
<b>1 流 動 負 債</b>			
未 払 金 3月分給料手当等	17,132,239		
前 受 金 高齢者住宅入居者の入居金等	102,230,928		
預 り 金 社会保険料等	321,284		
仮 受 金 2010年度賛助会費前受分ほか	12,585		
流動負債合計		119,697,036	
<b>2 固 定 負 債</b>			
長 期 借 入 金 ふじファンド及び横浜銀行等	462,907,000		
固定負債合計		462,907,000	
負債合計			582,604,036
正味財産			39,590,688

# 監査報告書

NPO法人ぐるーぶ藤  
理事長 鷲尾 公子殿

下記の通り監査を実施いたしましたので、ご報告いたします。

## 記

- ・ 監査実施日 2010年5月10日
- ・ 立会人 理事長 鷲尾 公子、事務局長 吉村さえ子、財務担当 富田 信美
- ・ 監査対象期間 2009年4月1日～2010年3月31日
- ・ 監査方法 実査及び立会人からの聞き取り

### 1. 会計監査

- ・ 諸伝票、預金通帳、現金、証憑書類並びに収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録などについて実査した結果、いずれも適正に処理されていることを認めます。ぐるーぶ藤の基礎ともなる2009年度、会員一同の活動により事業高も増え大幅な収益増で新年度を迎えた事を高く評価いたします。

### 2. 業務監査

理事長 鷲尾 公子氏から2009年度事業に関する概況説明を受け、当該活動方針に沿って監査を実施しました。

- ・ 「一番館・藤が岡」は開所3年目を迎え七つの事業、ボランティア活動、業務管理の力、会員の心を込めた活動に地域からの大きな信頼と期待を受けた一年でした。
- ・ 事業が拡大し会員も増えた2009年度、就業規則の見直しに着手し専門家のアドバイスを受けながら会員同士議論を重ねて、会員を大事にすることを第一義におき作成に考慮し、組織を守り会員を守る就業規則の改訂(案)を作成したことを高く評価いたします。
- ・ 今年度初めての試みとして2級ヘルパー研修を実施し、講師も会員が務め高い介護技術と熱意で指導したことは、よりよい介護をめざす日頃からのスキルアップ研修の成果と認めます。
- ・ 行政や他団体での活動を通じて介護保険はじめ福祉に関して市民の立場に立った提言・提案を続け、市民相互の助け合いのまちづくりを着々と実践されている活動に敬意を表しこれからの活動に期待します。

2010年5月10日

監事 土屋律子



監事 藤澤 抱一



## 第3号議案

### 2010年度事業計画

#### ・事業方針

##### (1) 基本方針

年若いても、障害があっても、病気になっても安心して暮らせる地域社会をつくるため、特定非営利活動法人として社会的責任を果たすとともに、市民相互の助け合いのまちづくりをめざします。

##### (2) 運営方針

###### 1. 組織運営

NPO法人ぐるーぷ藤は、趣旨書および定款にもとづき事業を行います。理事会の議決を経て事業と活動の方針について討議する代表者会議を月1～3回行います。そこでまとめられた提案事項について、毎月開かれる運営会議で検討し、その後、全メンバーを対象に運営報告会を開催し活動を共有します。また、それぞれの部門会議において会員の意見交換を行いその内容を事業活動に反映させる等、民主的な運営をめざします。

昨年度も「ぐるーぷ藤一番館・藤が岡」の地元を中心に大勢の仲間を迎えることができました。創設の理念を共有し継承することを大切にして、多様な働き方を実践していきます。ホームヘルプを対人援助の基本と捉え、各部門のスタッフが在宅支援を経験することをさらにすすめます。今年度も長寿社会文化協会主催2級ヘルパー研修をぐるーぷ藤校として開催し、即戦力となりうるヘルパー育成をめざします。

ぐるーぷ藤は来年度創立20年を迎えます。その記念行事の検討のため創立20周年実行委員会を立ち上げます。藤が岡の地にしっかり根を張り各事業をさらに安定させると共に、一番館運営により見えてきたニーズに対応するため「二番館」の建設準備をすすめます。

###### 2. 事業・活動部門

利用者の多様なニーズにできるだけ柔軟に対応し、本来事業、介護保険事業（訪問介護・通所介護・居宅介護支援・小規模多機能型居宅介護）、障害者自立支援事業（居宅介護・精神障害グループホーム）、高齢者住宅事業を連携させ、より充実した福祉の実現をめざします。

「ぐるーぷ藤一番館・藤が岡」においては、地域の安心を支える福祉拠点とし

での機能を果たすために総合相談窓口をさらに充実させると共に、レストラン「オハナ」では、食事の場だけでなく地域の交流の場・憩いの場としても多くの方にご利用いただけるような運営をめざします。

#### 2 - 1 訪問介護（ぐるーぷ藤ホームヘルプ）

利用者に寄り添いその方らしく暮らしていただくために、心のこもったホームヘルプサービスで在宅生活を支えます。本来事業では利用者のさまざまなニーズに対応し、介護保険事業・障害者自立支援事業では困難なケースや地域で必要とされるケースに積極的に取り組んでいきます。障害者自立支援事業は今後さらにニーズが高くなることが予想され、事業所加算をとった事業所として全体の介護力のアップを図り、多様なヘルパー研修の内容をさらに充実させます。その一環で3年目を迎えたリーダーヘルパー制を継続し、質の高いサービス提供を支える人材を育てるシステムをつくっていきます。

#### 2 - 2 通所介護（デイハウス藤の花・デイハウス菜の花）

デイハウス藤の花では、カルチャーデイと認知症対応型デイにより、地域との交流を深めながら、ゲストや家族のさまざまなニーズにお応えしていきます。今年度もゲストの自立支援と日常生活の充実を目的とした個別機能訓練を実施していきます。

デイハウス菜の花では、介護予防のサロンデイとしてゲスト自ら創り参加し憩いの場となるよう努めます。

3種類のデイを行うことで個別のニーズに対応するとともに、一人ひとりの個性を大切にしたい居心地のよいデイサービスをめざします。

#### 2 - 3 居宅介護支援（ぐるーぷ藤ケアマネジメント）

誰もが皆その人らしく暮らしていくためのケアプラン作成に努めます。利用者の状況や変化に応じて医療との連携を密にし、迅速・的確にケアプランを見直します。必要に応じ小規模多機能や施設への引き継ぎをする等きめ細かい対応をします。地域包括支援センターと連携し介護予防のマネジメントにも力を入れていきます。

今年度も藤が岡地区の方々からの相談を優先してお受けし、地域の福祉コーディネーターとしての役割も果たしていきます。

#### 2 - 4 小規模多機能型居宅介護（しがらきの湯）

通いなれた施設での日中のデイ、夜の泊まり、必要に応じた訪問を組み合わせ、利用者との「なじみの関係」を大切にしたいケアをさらに充実させるよう努めます。今年度は認知症サポーター養成講座を開催することで地域との連携を

図ります。また地域の一員として防災にも努めます。さまざまなボランティアの協力をいただきながら、在宅を望まれる方の最後の砦として住み慣れた地域で安心して生活が継続できるよう支援していきます。

#### 2 - 5 精神障害グループホーム（藤が岡の家）

複合施設の中にあるグループホームという特色を生かし、世話人を中心として日常生活をサポートするとともに、看護師始め他のスタッフの暖かい声かけや見守りを通して安心の暮らしを提供します。また、地域の作業所や医療機関・ハローワークなどの専門機関と連携をとり、それぞれの入居者にあった社会参加を実現できるよう支援します。

#### 2 - 6 高齢者住宅（ぐるーぷ藤一番館）

「終の棲家」としておもてなしの心を大切にし、お住まいの方にその方らしく安心して楽しく暮らしていただけるよう努めます。そのために看護師による個別の健康相談を充実させ主治医との連携を図ります。必要に応じて介護保険と一番館サービスを組み合わせ、さまざまなニーズに対応します。

運営懇談会や毎月の手紙を通してご家族とのつながりを大切にするとともに、地域とも連携しながら季節感のある行事等を行っていきます。急な災害時にいつでも対応できるようスタッフの防災意識を高めます。

#### 2 - 7 厨房及びレストラン（オハナ）

厨房では一番館にお住まいの方々やしがらきの湯を利用されている方々の体調に配慮し、さまざまな形態に応じた食事を提供できるよう努めます。また厨房内における衛生・防災管理は引き続き徹底します。

レストラン「オハナ」ではお客様に安全で美味しい食事を提供するだけでなく、くつろいでいただける雰囲気づくりに努め、地域の交流の場・癒しの場をめざします。

#### 2 - 8 総合相談窓口

総合相談窓口では看護師・介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士・ケアマネジャー等が常駐し、地域の駆け込み寺として福祉・医療に関するあらゆる相談に応じます。

18年の経験を生かし緊急のSOSに対応するとともに、地域においては権利擁護の観点に立ち、弁護士・民生委員・地域包括支援センター等に橋渡しをするNPO版地域包括支援センターの役割を担います。また、税理士による無料の税務相談も継続します。

### 3. 管理部門

ぐるーぷ藤総体の事務局として管理運営に責任をもち、効率的に業務を遂行できるよう努めます。各部門からの請求業務、官公庁等への各種届出、他団体や業者との折衝等を確実に遂行します。予算の執行にあたっては、人員配置・物品管理・水道光熱費等すべてにおいて無駄を省き経費節減に努めます。各部門で円滑な業務遂行ができるよう縁の下の力持ちの役割を果たします。

火災・震災等の予防及び安全確保のため、消防計画に基づき藤沢南消防署立会いのもと年2回防災訓練を行います。また館内の消防用設備の点検を強化し高齢者住宅にスプリンクラーを設置します。

昨年10月に行った館内点検により見えてきた新たな課題に対応するため長期的な修繕計画作成に着手します。

事業の拡大によって増加する個人情報の保護にはなお一層配慮し、セキュリティーの管理に努めます。

#### 3-1 会員（メンバー）と福利厚生

まちづくりの理念に賛同する仲間を増やします。それぞれのメンバーの資格や能力を生かして皆が生き生きと働ける多様な職場づくりをめざし、自己実現の場をつくりまします。多くのメンバーが参加し親睦を深められる交流会の開催や心とからだの健康相談を開始するなど福利厚生の充実に努めます。

昨年度、長年の夢であった退職金制度の準備を始めましたが今年度は運用について検討を行います。

#### 3-2 広報活動

広報誌「花どけい」はさらに内容を充実させ、新たなまちづくりの情報発信の場にするるとともに利用者との交流を図ります。各部門のパンフレットは事業内容をわかりやすく紹介できるよう整備していきます。またホームページはより見やすくアクセスしやすいサイトをめざし今後も改良していきます。書籍（市民出資の福祉マンション）を取材や多くの見学希望者に読んでいただくなどして有効に活用します。

### 4. 評価プロジェクト

第2期3か年計画3年目となる今年度は、6年間にわたる評価プロジェクトのまとめの年とします。昨年度ほぼ完成した自己評価シートについて最終的な見直しを行います。また事務職のみに取り入れた業務内容の難易度による時給設定を、他職種にも適用することについて検討します。さらに課題としていた定年後の働き方についても調査・検討し、NPOらしい働き方を確立します。

## 5．研修プロジェクト

介護力の向上と理念の共有をめざし引き続き研修プロジェクトを設置します。他団体との連携も視野に入れ、各部門でそれぞれの習熟度に応じた研修、メンバー全体に向けての研修、外部に向けての公開講座等を計画的・有機的に組み合わせ実施します。

トップリーダー養成研修としてドイツ・オランダ海外研修を実施します。

## 6．その他の活動

幼児教室どんぐり園、コンフォール藤沢自治会、ボランティアすみれ及び他団体と連携しながら地域に根ざした活動を行います。今年度も地域で地道な活動をするNPOや障害者団体等に「まちづくり対策費」を活用しそれぞれの活動を支援していきます。また藤沢市の諸団体の委員、市民福祉団体全国協議会等での活動を通じて介護保険はじめ福祉に関して市民の立場に立った提案をしていきます。さらに各種講師等の機会を通して、ぐるーぷ藤の活動を広く紹介するとともに啓発活動を行います。今年度も見学者やメディアの取材には丁寧に対応していきます。

## ．事業内容

### 1) 特定非営利活動に係る事業

#### (1) 家事、介護、育児等に関する生活支援サービスおよび相談事業

##### 1. 通常事業

内 容：高齢者、障がい者などの介護、家事援助および産後、育児等の生活支援および相談

日 時：通年

場 所：藤沢市およびその近接地域

従事者人員：70名

対 象 者：100名

#### (2) 地域福祉の向上に向けた学習および研修、啓発を図る事業

##### 1. 介護講座等

内 容：介護講座

日 時：7月、9月、11月

場 所：ぐるーぷ藤一番館・藤が岡

参加人員：90名

対 象 者：藤会員およびさわ会員、地域の方

#### (3) 介護保険法にもとづく事業

##### 1. 訪問介護事業

内 容：介護保険対象者への訪問介護サービスの提供

日 時：通年

場 所：藤沢市域

従事者人員：70名

対 象 者：80名



## 2. 通所介護事業

内 容：介護保険対象者への通所介護サービスの提供  
日 時：通年  
場 所：藤沢市域  
従事者人員：30名  
対 象 者：80名

## 3. 居宅介護支援事業

内 容：介護保険対象者への居宅介護支援サービスの提供  
日 時：通年  
場 所：藤沢市域  
従事者人員：5名  
対 象 者：60名

## 4. 小規模多機能型居宅介護事業

内 容：介護保険対象者に「通い」を中心として「泊まり」「訪問」  
を組み合わせたサービスを提供  
日 時：通年  
場 所：藤沢市域  
従事者人員：40名  
対 象 者：25名

## (4) 高齢者・障がい者等に対する居宅支援および施設サービス事業

### 1. 居宅支援サービス事業

内 容：障害者自立支援対象者への訪問介護サービスの提供  
日 時：通年  
場 所：藤沢市域  
従事者人員：70名  
対 象 者：50名

## 2. 精神障害グループホーム

内 容：障害者自立支援対象の精神障害者へのグループホーム・  
ケアホームの提供

日 時：通年

場 所：藤沢市域

従事者人員：4名

対 象 者：6名

## 3. 高齢者住宅

内 容：高齢者に終の棲家としての住宅の提供

日 時：通年

場 所：藤沢市域

従事者人員：30名

対 象 者：21名

## (5) レストラン事業

### 1. レストラン事業

内 容：福祉マンションで働くスタッフおよび近隣の方に開放する  
レストラン運営

日 時：通年

場 所：藤沢市域

従事者人員：5名

対 象 者：多数

## (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### 1. 総合相談センター

内 容：福祉・医療に関する相談業務

日 時：通年

場 所：藤沢市およびその近接地域

活動人員：10名

対 象 者：多数



## 第 5 号議案

### 就業規則（案）別紙

## 第 6 号議案 役員選出について

定款第 11 条および 12 条による

## 提 案 者

理事長	鷺尾 公子
理 事	小野 淑子
理 事	垣見 凌子
理 事	黒川 栄
理 事	小林純二郎
理 事	佐藤 律子
理 事	富田 信美
理 事	南 則子
理 事	山口 修三
監 事	土屋 律子
監 事	藤澤 抱一



歳をとっても病気になっても

障がいがあっても

いつまでも自分らしく暮らせる街を創りたい

第6回(通算18回)通常総会議案書

発行日	2010年5月22日
発行者	NPO法人ぐるーぷ藤 理事会
住 所	藤沢市藤が岡1-4-2
電 話	0466-24-3100